

NEWS RELEASE (2021年9月3日) 取材依頼

鹿児島大学法文学部の教職員と現役学生、OBOG で法文学部の未来を考えるオンライン連続ワーク ショップ「昼休みの法文族」を開催中

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

鹿児島大学法文学部 FD(Faculty Development) 委員会では、法文学部の魅力と可能性を教職員と現役生、法文学部の OBOG で協働し探ることで、(1) 法文学部教職員学生 OBOG らの相互理解をはかる、(2) 参加者間で法文学部構成員としての当事者意識を醸成し、前向きな議論がしやすい環境をつくる、(3) OBOG の声に耳を傾け教育改善等に活かす、等を目的としたオンライン連続ワークショップ(通称:昼休みの法文族)を毎月2回火曜日に開催しております。



【図表1】昼休みの法文族のロゴ(2016年3月法文学部人文学科卒和田佳津紗さんによるデザイン)

これまでは8月10日と8月24日に第1回オリエンテーション、第2回法文学部の魅力と可能性を探ると題して、アイスブレイクや意見交換を行ってきました。9月21日には、地域で活躍する OBOG (株式会社 ecommit 海外営業部マネージャー 濱津綾乃さん(2015年法文学部人文学科卒)とグラレコ等を専門に行っているアラワス代表 関美穂子さん(2012年法文学部人文学科卒))らをゲスト講師として招聘し、オンラインによる座談会を通じて法文学部のさらなる可能性と魅力を探ります。また、10月5日にも、MBC 福岡支社岡部航大さん(2018年経済情報学科卒)等を招いた同様の座談会を実施予定。

今後は上記のような座談会やワークショップを通じて法文学部の魅力と可能性を継続して探ります。また、12月には法文学部の10年後想定される状況(教員数や予算の減少、18-22歳の人口減少 etc)をメンバー間で共有したうえで、10年後の理想的な法文学部像を議論し協働して描いていきます。

つきましては、本件についてぜひ取材・報道くださいますようお願いいたします。取材(原則オンライン)を希望される方は下記までご連絡をお願いいたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



【図表2】 Zoom を用いたオンラインワークショップの風景



【図表3】 昼休みの法文族のイメージ (関美穂子さん (2012年人文学科卒) 作成)

【問い合わせ先】

鹿児島大学法文学部 法経社会学科
 地域社会コース 准教授 酒井佑輔
 メールアドレス: sakai@life.kagoshima-u.ac.jp
 電話: 099-285-7292. 080-1200-3042